

No. 001

平成 25 年 7 月 29 日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

## 自然体験イベント事件事例情報

事故名	転倒し、たんこぶをつくる	被災者	年齢 幼稚園児	性別 男
事故状況	発生日時 平成 25 年 7 月 27 日 (土) 午後 19 時 00 分頃			
	発生場所 公園			
	事故状況 (何をして、どのように、どうなった)  母のしている木のセミ羽化をみようとした本人が、父の近くから斜面をショートカットして走ったため、道の溝に足を踏み外し、前方に勢いよく転んで、左手掌に傷をつくり、右おでこに大きなたんこぶをつくった。			
事故処置	誰が、どのように処置  スタッフが、手は水であらって薬品で消毒、頭は氷 (ペットボトル) で冷やし続け、その間、スタッフが電話番号を控えていた救急病院に母親自身が連絡を取った。  その病院で、脳の MRI を取ることのできる救急病院を紹介してもらい、さらに、そこに電話をして予約。  羽化を少し見てから、家族で病院に向かった。 翌朝、電話で様子を聞いたが、「もう大丈夫、通院は必要無い」とのこと。			
	ケガの部位・症状  前頭部のひたい (おでこ) に直径 4cm くらいのたんこぶ 左掌に血のにじむ 5mm ほどの傷。			
	推定原因と再発防止策は  羽化をみているときでも、暗いので、移動するときは、足下を必ずしっかり見て歩く、絶対走らないこと、などを徹底させる。			
総務部コメント	上記、推定原因と再発防止策に同じです。			